

## 普及現地情報

発信年月日：平成 30 年（2018 年）8 月 10 日

所属名：湖東農産普及課

番号：F18005

部門分類：150（野菜）

発信者名：川村

### 1 ha 規模以上の野菜作付けをめざし、「水田野菜栽培研修会」を開催！

8 月 3 日、彦根市薩摩町現地ほ場で、当課主催による「水田野菜栽培研修会」を開催しました。研修会には、野菜作付 1 ha 以上に取り組む生産者と関係者併せて 13 名が参加し、収量向上のための栽培管理のポイントを確認しました。

当課では担い手の収益向上を図るため、水田野菜の推進を行い、1 ha 規模以上の作付を行う経営体の育成を進めています。昨年度は台風の影響で多くのほ場で浸水や滞水がみられ、排水対策の重要性を再認識する結果となりました。

そこで、今回の研修では、特に排水対策の徹底を図るために、額縁明渠と畦立て後の溝のつなぎ方、排水口の位置を低くするなど排水対策のポイントを説明しました。また、昨年度調査研究で実施したレーザーレベラーを用いたほ場傾斜による排水促進の結果を交えながら取組実践を呼びかけました。

さらに、定植後の雑草防除が課題の一つにもなっているため、各参加者から初期の薬剤処理方法と発生後の対応事例を発表してもらい、栽培技術向上への理解が深まったと考えられます。

また、個別経営体で導入されたキャベツ収穫機の見学を通じて、機械化一貫体系による省力化と水田作経営における野菜との複合化、規模拡大への意欲喚起を行いました。

現地では猛暑にもかかわらず、既に定植作業が始まっています。今後も水田野菜が経営の柱として成長するよう、栽培技術の向上に向けた支援や研修会を開催していく予定です。



現地での栽培研修



キャベツ苗を見学